



# 第14回 スナックゴルフ対抗戦 JGTOカップ 全国大会 報告書

2016年7月17日(日) グランディ那須白河GC

テレビ放映: BS12ch TwellV (トゥエルビ) 9月22日(木曜日・祝) 19:00-20:00





震災復興支援イベントとして、昨年までの3年間は宮城県仙台市で、そして今年からは福島県西郷村のグランディ那須白河ゴルフクラブNASUコースに舞台を移して開催。トッププロ6人によるJGTOドリームチーム、小田孔明プロ、永野竜太郎プロ、片岡大育プロ、藺田峻輔プロ、秋吉翔太プロ、浅地洋佑プロが参戦し、子どもたちと同じクラブ、同じボール、同じ距離で参戦し大会を盛り上げた。



# ドリームチームが福島に見参！第14回スナッグゴルフ全国大会

(7月17日JGTOホームページ記事より)

来週21日からここで、ダンロップ・スリクソン福島オープンが始まる。その直前の、最初の大事なイベントといってもいい。それは子どもたちだけでなく、プロゴルファーたちにとっても重要な“前哨戦”となった。

今年もドリームチームを編成して駆けつけた。主催のJGTOを代表して5人の精鋭を引き連れてやってきたのは、我らが孔明。今年の“キャプテン”は、各地区予選を勝ち抜いて、晴れ舞台を迎えた今年の28校を前に、開会式でいきなり爆弾発言をした。

「負けたら僕ら、全員坊主になるよ！」。

夢のチームを結成して「スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ 全国大会」にプロゴルファーが参戦するようになって6回目になる今年は雪辱戦だった。

去年は、初めてドリームチームが優勝校に敗れたのだ。リベンジするためにはそのくらいの覚悟が必要と、孔明キャプテンは考えたようだったが、「聞いてないよ！」。一斉に声を揃えたのはメンバーたちだ。今朝の打ち合わせにも一切、出て来なかった、寝耳に水の話。たまったもんじゃない！

しかし2年連続出場の片岡大育(かたおかだいすけ)は、敗北をなめた昨年チームの一員だけに、大きなことはいえない。「僕の頭はすでに、坊主みたいなものですが...」と控えめに、どうにかこれ以上、大事な髪を失わずに済む方策はないものか...

「じゃあ、※(こめじるし)を坊主にしよう」と、まとまった。

「※(こめじるし)」とは、チームのワーストスコアを出した選手につけられる不名誉な印のことで、もはやチームスコアにもカウントされない。いわば“みそっかす”一人に責任をなすりつける苦肉の策に、いっそうメンバーたちは燃え出した。

「ここにいる誰にも負けない。かかってきなさい！」と宣戦布告したのは、ドリームチーム誕生のきっかけを作った男。6年前に「俺らプロもチームを作って小学生と対戦しよう」と言い出したのは、藺田俊輔。

自身3度目、3年ぶりに戻ってきたこの舞台は、昨年まで3年連続で行われた仙台から、ここ福島県のグランディ那須白河ゴルフクラブのNASUコースに移ってきたのは、「宮城も、岩手も福島も、大変な目に遭いましたけど僕らそれらを乗り越えて頑張ってますと、今度は福島県の我々が、全国のみなさんにお伝えするため」とは、ご当地キャラのニシゴウヌちゃんと、ゴルフバックを引き連れて駆けつけた開催コースの地元・西郷村の佐藤正博・村長だ。

「僕らも福島を、盛り上げる気満々でやって来ました」と引き受けた藺田は、“発起人”としても、やる気満々。みすみす坊主になる気も、さらさらなかった。アルバトロスが2つにイーグル3つ。バーディ3つのパー1つ。みごとなまでに有言実行の「21」は小学生と合わせても、文句なしのベストスコアをマークした。

初出場の永野竜太郎は、小学生の前でイーグル連発。何度もガッツポーズを作っておきながら「...大人げない」。渾身の22と、24ストロークの片岡は、カウントバックでどうにか面目躍如だ。



ホールアウト後の集計の合間には、JGTOドリームチームのプロゴルファーたちが、ケン玉やフラフープ、そしてサッカーボールでのリフティングなど、子どもたちの得意分野でもガチンコ対決を繰り広げ、イベントは笑いに包まれ楽しい雰囲気で行われた。



はてさて、今年から今大会ではルールが改定になり、6人中上位3人のスコアが採用にされることになったと後から知って、啞然呆然の「※(こめじるし)」プロ3人。

24ストロークを記録した浅地洋佑は、まだ良かった。そして秋吉翔太は、「今日の※(こめじるし)はきっと翔太」との、最初のみんなの見込みどおりだった。今大会は初出場で、ましてスナッグゴルフもほぼ初心者で、前夜はユーチューブで勉強してきたと一夜漬けも空しく、スタート前の練習場でも大だぶり。アイアンならぬ、ランチャーを空に向かって投げ飛ばした様子には、秋吉のこの日の結果にもうすうすは予想がついたが、その秋吉と並んで「26」はまさかまさかの今年の「※(こめじるし)」は、なんと孔明。

イーグル2個も、「パーが2つもあつたら、もうダメだ」と、最終ホールの9番パー5は、せめてアルバトロスとがつついても、イーグルを奪うので精一杯。

秋吉と並ぶ26ストロークは、しかし「今年の俺のゴルフどおりだ」と、ひそかに合点がいたりして....。

2014年の賞金王も、今シーズンは「何やってもダメ」と、ちっとも元気がない。「今の状態を、そのまま現している」と、スナッグゴルフでさえも、きっちりとの結果が如実に現れ、改めて知るゴルフの深さ。

言い出しっぺがまさか自身の術中にハマるとは...。賞金王のスコアに興味津々集まってきた。小学生にも「俺、プロに勝った〜！！」と、口々に自慢をされて、ああ情けないやら.....。

「わざと負けてやったんや」と負け惜しみ？！

いやいや孔明は、気は優しくて力持ち！ あえて自ら悪い見本になって、子どもたちに喚起をうながす。

成績発表の前のエキシビジョンでは各種目別のリフティング大会で、ランチャーで器用にボールを扱いながらもズルをして、子どもたちの進路をわざと妨害しに行ったがために、真っ先に脱落した。

子どもたちに、「ずるい」とやんやと責められごめんなさい。「人は悪いことをすると、こうなるんです」と、孔明の反面教師。

それでも最後はドライバーのデモンストレーションで、飛ばし屋の業師はドロウ、フェードと豪快に打ち分けて、さすが賞金王の誉れを取った。子どもたちの前で手本を打つうち、不振脱却のヒントも掴んだ。

「今年はずっと調子が悪かったけど、今日は3年前のようなショットが打てた。ここに来た甲斐が出来て良かった」。

昨年大会のリベンジどころか子どもたちの前で屈辱の「※(こめじるし)」など違った意味で、何かとこの日の主役となり14回大会を盛り上げた今年のドリームチームのキャプテンは、次週からここ福島で始まる大会を前に、何よりの1日を過ごしたようだ。

(7月17日JGTOホームページ記事より)



第14回スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会には、全国の予選を勝ち抜いた28校が参加。そのうちの8校は震災復興支援枠として岩手県、宮城県、福島県からの参加。選手を含む遠征者数は500名を超え、今年も盛大な大会となった。



# 友部小が大会2勝目 今年も大勢の方々に見守られ (7月17日JGTOホームページ記事より)

大会主催のJGTOが、ドリームチームを結成して6年目。トッププロが、スナッグゴルフの全国大会に来るたびに、目を丸くするのが子どもたちのひたむきな姿だ。

各地区予選会を勝ち抜いて、年に一度の晴れ舞台を迎えた子どもたちは、サインをねだる時にはあれほど無邪気にトッププロにまわりついていて、いざ本番となれば、ドリームチームの面々には目もくれぬほど、真剣そのもの。

各組に2ホールずつついて、小学生と一緒にプレーするプロたちも、しばらくしてすぐに気がつく。この日は時折小雨のちらつくあいにくの天候に、重く湿った芝と、スナッグゴルフ用のボールは、テニスボールと同じ素材で水分を吸いきって、転がりが悪くなる。そのあたりのさじ加減もどうやら、子どもたちは計算し尽くしているかのようなのだ。会場のグランディ那須白河ゴルフクラブにセッティングされた特設コースは、フェアウェイの微妙な傾斜もしっかりと読み切って、ショットやアプローチに強弱もつけているようなのだ。

ドリームチームの6人が6人とも「みんな上手いわ...!」と、つい唸る。そして、ホールアウトして、成績集計を待つ間のエキシビションは、子どもたちと競うゴルフ以外の多種目でも、6人ともぎゃふんと言わされっぱなしだ。

剣玉で対抗した浅地洋佑も「参りました...!」。サッカー大好き、藺田峻輔は、得意分野のはずが、リフティング合戦では3年前にも、覚えがある。

「あのときも確か、こんなふうには負けたような...」。右往左往のあげく、すぐに脱落してしまった藺田を横目に淡々と、放っておいたらそれこそ延々に、蹴り続けているのではないかというような巧みなボールさばきの子に降参した。

フラフープ対決では、ちよっぴりぽっちゃりお腹で回す変わりに、得意の(?)首回しで勘弁してもらおうと、秋吉翔太の画策も子どもたちにあっさり却下されて惨敗した。

永野竜太郎は、スナッグゴルフのアプローチ合戦で狙う的が小さなお鍋VS大樽との差はあれど、参加者全員にご褒美のサイン入りキャップをあげるはめになるなどドリームチームには本当にトホホな1日。

何をやらしても、手抜きなし。真摯に目の前の1打に取り組む子どもたちが掴んだ栄光に、ドリームチームの面々も心からの賛辞を送った。

今年、優勝校に輝いたのは茨城県の笠間市立友部小学校。11年連続11回目の全国大会は、一昨年に続く2度目の勝利というもうなずける。



表彰式で、子どもたちにメダルをかけてやりながら、永野が小さくつぶやく。「友部には草野さんがいるからなあ」。友部には、毎年ツアープレーヤーの日本一を決める「日本ゴルフツアー選手権 森ビルカップ Shishido Hills」の会場の宍戸ヒルズカントリークラブがあり、その草野通朗・総支配人はスナッグゴルフの地域浸透に長く力を入れておられて、この日もわざわざ応援に駆けつけるほどの熱心さで、子どもたちを支えられているのは永野だけでなく、多くのプロが知っていることだ。

同校キャプテンの5年生の羽沢和磨(はざわかずま)くんは去年は、レギュラーから外されるといふ悔しさをバネに、みごとチームを頂点に導いた。また今年からルールが改定されて5、6年生もメンバーに入れることになった恩恵を最大限に生かすなど毎年、子どもたちの世界にもさまざまなドラマがある。

大会は14年目を迎えてますます絆を深め、ますます子どもたちのレベルは上がっている。そこに混じってプレーしたプロ6人にとってももはやパープレーはボギーやダブルボギーを打った気分。今年は小学生から9人のホールインワンと、7人のアルバトロスが出た。惜しくも1打差に涙をのんだ東京都の大田区立池雪小学校のキャプテン、福永未来(ふくながみらい)くんはそれでも団体のシルバーメダルと、個人戦はベストスコア(22)の金メダルと、アルバトロスを達成した記念のメダルと3つも首にぶらさげ、「いいなあ、1個ちょうだい」と、プロたちから羨ましがられたほど。

今年は震災復興推薦枠として、福島県下の6校も参加して熱戦が繰り広げられた。大の大人のプロたちも、こぞって“大盛り”を注文した。お昼ご飯の「めざめるカラダ朝カレー」を提供してくださったハウス食品のみなさん。「C1000 レモンウォーター」で、選手たちのカラダと喉をたっぷり潤してくれたハウスウェルネスフーズのみなさんをはじめ、今年も多大なご協力をいただいたスポンサー、協賛各社のみなさん。

優勝チームには今年も副賞として、日本ユニシス株式会社から東京ディズニーリゾート・パスポートが贈られた。笠間市立友部小学校の藤家幸司・監督は「たくさんの方々に支えられ、今日集まってくれたたくさんのライバルのみなさんのおかげで、私たちのチームが一番良いスコアを残せたと思う」と感極まった。

子どもたちはとおきの思い出とともに、開催コースの地元西郷村から参加賞として頂いた「ポテトまんじゅう」を何よりの手土産に持ち帰った。

今年も北海道から、はるばる沖縄まで全国各地の小学校が参加して、けっして安くはない子どもたちの交通費や宿泊代を捻出してくださった大勢の支援プロゴルファーのみなさん。

そしてこの晴れの日こそ子どもたちには心からゴルフを楽しんでもらいたいと、全カプレーで大会を盛り上げてくれたドリームチームのみなさん。

本日は、本当にありがとうございました………！

(7月17日JGTOホームページ記事より)



大会への遠征は、全国各地から飛行機や新幹線を利用して選手たちは福島入りした。

また、参加者は国立那須甲子青少年自然の家に宿泊し、同じ宿泊施設の利用により、全国各地域との交流を図った。



大会当日の夜には、福島県の震災復興を学ぶため、名古屋大学理学部での経歴を持つ、河田昌東(かわたまさはる)先生を講師に迎え、菜の花プロジェクトという、菜の花を活用した除染活動についての講演をして頂きました。

## みんなで世界の未来を考えよう！ 特別講演を実施(スナッグゴルフ全国大会、17日)

チームのみんなで、ひとつの目標に向かって一生懸命に戦ったその夜は地元・那須甲子の「青少年自然の家」で、世界の未来のためのお話を聞いた。

「第14回スナッグゴルフ対抗戦 JGTOカップ全国大会」のあとの特別講演。

講師をつとめてくださった河田昌東(かわたまさはる)さんは、名古屋大学理学部で分子生物学・環境科学を研究したあと、世界各地で起きた公害や災害の調査、復旧や支援に携わり、1986年にウクライナ共和国にあるチェルノブイリ原子力発電所で起きた大事故の救援活動にも参加。

原子力発電に変わる電力供給として、主に菜の花を活用したバイオ燃料の研究、開発に携わり、76歳の今なお国内外で精力的に活動を続けられている。

今年のスナッグゴルフ全国は、昨年まで3年続けた宮城県仙台をいったん離れ、今年には福島県のグランディ那須白河ゴルフ倶楽部に会場が移され、地元からは6校が震災復興校として出場を果たしたが、県外から来た子たちにとっても福島県で起きた原発事故を、自分たちのこととして考える希少な機会となった。

ご自身の経験と、これまでの成果をまとめた河田さんのこの日の講演は「福島県を菜の花で復興へ 菜の花プロジェクトの取り組み」と題され、子どもたちにも分かりやすい説明をと心を砕かれた河田さんのお話は、子どもたちの心にもまっすぐに届いた。

講演会は夕食を終えた午後7時から行われたが誰一人として居眠りする子もおらず、河田さんに積極的に自分の疑問や考えを述べたり、子どもたちも真剣に自分たちのこれからの未来を考える貴重な時間が持てたようだった。

# 大会成績

## 笠間市立友部小学校(茨城)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
出口 千加志 デグチ ヨシタ	4	青 23	73
島津 翔太 シマツ ショウタ	4	青 24	
羽沢 和磨 ハザワ カズマ	5	青 26	
内藤 陽希 ナイトウ ハルキ	4	赤 26	
小池 伶真 コイケ リョウマ	4	赤 28	
小原 壮太 オハラ ソウタ	4	赤 28	優勝

## 大田区立池雪小学校(東京)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
福永 未来 フクナガ ミライ	5	青 22	74
望月 大菜葉 モチツキ ユナ	4	青 26	
津崎 堪太郎 ツザキ カンタロウ	4	赤 26	
碓井 佑菜 ウスイ ユウナ	4	青 28	
杉山 陽七菜 スギヤマ ヒナタ	3	赤 28	
彩月 菜々美 モチツキ ナナミ	3	赤 29	2位

## 大崎市立鬼首小学校(宮城)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
高橋 芽依 タカハシ メイ	6	赤 22	75
中鉢 文歌 チュウバチ アヤカ	6	赤 26	
大沼 風翔 オオヌマ フウト	6	青 27	
後藤 美咲ゴトウ ミサ	6	赤 28	
鎌田 涼葉 カマタ スズハ	5	青 29	
高橋 彩来 タカハシ サラ	4	青 35	3位

## 東広島市立三ツ城小学校(広島)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
内藤 遼太 ナイトウ リョウタ	6	赤 25	75
神田 庵吏 カンダ イオリ	5	青 25	
神田 克紀 アキタケ カツキ	5	赤 25	
神田 偉吹 カンダ イブキ	5	青 26	
加藤 智也 カトウ トモヤ	6	青 27	
鷺見 悠成 スミ ユウセイ	5	赤 29	4位

## 播磨町立播磨南小学校(兵庫)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
横田 遥希 ヨコタ ハルキ	6	青 24	77
山崎 友希 ヤマザキ ユウキ	5	赤 26	
鳥本 皓也 トリモト ヒロヤ	5	青 27	
徳田 晴香 トクダ ハルカ	6	赤 29	
吉見 正樹 ヨシミ マサキ	6	青 30	
堀 空悟 ホリ クウゴ	6	赤 30	5位

## 東広島市立東西条小学校(広島)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
衣川 太智 キヌガワ タイチ	6	赤 26	78
山本 翔吾 ヤマモト ショウゴ	6	赤 26	
徳永 篤弥 トクナガ アツキ	3	赤 26	
本田 留菜 ホンダ ルナ	5	青 28	
三宅 結菜 ミヤケ ユナ	5	青 28	
能井 和花 ノヱ ノドカ	5	青 31	6位

## 笠間市立岩間第三小学校(茨城)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
長谷川 愛心 ハセガワ ナナミ	5	赤 24	80
吉沼 千裕 ヨシヌマ チヒロ	4	赤 28	
菅野 真子 スガノ マコ	5	青 28	
鈴木 日和子 スズキ ヒナコ	4	青 28	
菅野 雄太 スガノ ユウタ	2	青 29	
佐藤 新  ساتウ アラタ	4	赤 32	7位

## 桑名市立藤が丘小学校(三重)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
諏訪 龍ノ介 スワ リュウノスケ	5	赤 25	82
中山 佳惟人 ナカヤマ カイト	4	青 27	
塚本 瑞起 ツカモト ミズキ	5	赤 30	
中山 希歩人 ナカヤマ キホト	4	青 31	
三木 かなえ ミキ カナエ	5	赤 35	
三木 のぞみ ミキ ノゾミ	3	青 39	8位

## 神戸市立塩屋北小学校(兵庫)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
岩崎 美羽 イワサキ ミウ	5	赤 26	82
廣田 吉輝 ヒロタ ヨシキ	4	赤 27	
廣田 英翔 ヒロタ ヒデト	5	青 29	
茅原 一太 カヤハラ イチタ	4	青 29	
芝崎 美羽 シバサキ ミウ	3	赤 30	
北村 千洋 キタムラ チヒロ	6	青 31	9位

## 笠間市立岩間第二小学校(茨城)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
柴沼 里桜 シバナマ リオ	6	赤 27	84
高瀬 悠 タカセ ハルカ	5	青 28	
増瀨 亜由美 マスブチ アユミ	5	赤 29	
柴沼 千華 シバナマ チカ	6	青 30	
深作 真美 フカサク マミ	5	赤 31	
佐藤 由衣 サトウ ユイ	6	青 32	10位

## 常陸大宮市立大宮小学校(茨城)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
見代 美咲 ミヨ ミサキ	5	赤 27	85
小室 咲哉 コムロ サキ	6	赤 29	
佐久間 貴大 サクマ タカヒロ	3	赤 29	
坂井 花凜 サカイ カリン	6	青 30	
栗田 颯姫 クリタ サツキ	5	赤 30	
高梨 美優菜 タカナシ ミユナ	5	青 37	11位

## 日進市立西小中学校(愛知)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
三浦 実孝 ミウラ サネタカ	6	赤 27	85
阪野 翔伍 はんノ ショウゴ	6	青 29	
柳田 優衣 ヤナギタ ユイ	6	赤 29	
柳田 龍輝 ヤナギタ リュウキ	4	青 33	
重田 健心 シゲタ ケンシン	5	青 35	
阪野 義悠 はんノ ヨシヒサ	4	赤 36	12位

## 福山市立伊勢丘小学校(広島)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
笠原 愁人 カサハラ シュウト	6	赤 27	86
野原 湊 ノハラ ミナト	6	赤 29	
和田 一輝 ワダ カズキ	6	青 30	
廣江 琢人 ヒロエ タクト	5	青 30	
井上 叶夢 イノウエ カナト	6	青 31	
永峯 ひなた ナガミネ ヒナタ	6	青 34	13位

## 多古町立久賀小学校(千葉)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
小川 周大 オガワ シュウダイ	4	赤 28	87
岡村 拓実 オカムラ タクミ	4	赤 29	
重田 梨花  シゲタ リリカ	4	青 30	
宮田 成  ミヤタ セイ	4	赤 31	
篠塚 宗之介 シノヅカ シュノスケ	4	青 31	
高橋 幹蓮 タカハシ レン	4	青 33	14位

## 笠間市立稲田小学校(茨城)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
松崎 広乃 マツザキ ヒロノ	5	赤 29	89
塩橋 柚巴 シオハタ ユズハ	4	青 30	
磯山 紗季 イソヤマ サキ	4	青 30	
藤田 音祐 フジタ ネホ	4	赤 30	
海老原 日向 エビハラ ヒナタ	4	青 33	
佐藤 亜希 サトウ アキ	4	赤 37	15位

## 新地町立新地小学校(福島)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
小野 那也 オノ トモヤ	6	青 29	91
目黒 諺太郎 メグロ コタロウ	6	青 31	
佐藤 惟なみ サトウ ナナミ	5	赤 31	
但野 優雅 タダノ ユウガ	4	赤 33	

## 千歳市立千歳第二小学校(北海道)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
小林 愛梨 コエバヤシ アリ	5	赤 28	92
越 明里咲 コシ アリサ	5	青 31	
小野 菜乃夏 オノ ナノカ	2	赤 33	
鳥越 さくら トリゴエ サクラ	6	赤 33	
五日市 颯ク イツカイチ ソウ	4	青 36	
鳥越 しずく トリゴエ シズク	5	青 36	17位

## 宮古市立崎山小学校(岩手)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
菊池 海聖 キクチ カイセイ	5	青 30	93
攝持 新太 セツチ アラタ	6	青 31	
北村 芽生 キタムラ メイ	6	赤 32	
菊池 愛海 キクチ アミ	4	赤 35	
及川 仁  オイカワ ジン	5	赤 37	
北村 岳土 キタムラ ゲン	4	青 41	18位

## 阿波市立土成小学校(徳島)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
喜多 輝 キタ アキラ	6	赤 32	98
松本 瑞生 マツモト ミズキ	4	赤 33	
吉本 彩乃 ヨシモト アヤノ	5	青 33	
西條 愛生 サイジョウ メイ	3	青 36	

## 高宮市立狩俣小学校(沖縄)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
與儀 翔太 ユギ ショウト	6	青 29	101
來間 香米紗 クリマ カズサ	6	赤 36	
狩俣 弥哉 カリマタ ヒロヤ	6	赤 36	
平良 りん タイラ リン	6	青 37	
村田 一輝 ムラタ カズキ	6	青 42	
			20位

## 白濁町立岸本小学校(鳥取)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
木村 祥太 キムラ ショウタ	4	青 32	101
松田 遥喜 マツダ ヒロキ	6	赤 34	
田中 柚希 タナカ ユズキ	5	青 35	
田中 聖太 タケナカ セイタ	2	赤 37	
安田 惟真 ヤスダ イシン	3	赤 40	
野坂 宗汰 ノサカ ソウタ	4	青 41	21位

## 香川大学教育学部附属鳳坂小学校(香川)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
宮武 楓果 ミヤタケ フウカ	4	赤 32	103
津山 巧海 ツヤマ タクミ	4	青 33	
筒井 真心 ツツイ マコ	4	赤 38	
			順位
			22位

## 天栄村立瀧本小学校(福島)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
星 莉己 ホシ リコ	4	青 32	103
星 宇宙 ホシ ソラ	4	赤 35	
田代 愛美 タシロ マナミ	4	赤 36	
星 梨央 ホシ リオ	3	青 41	
小山 雄聖 コヤマ ユウセイ	5	赤 42	
田代 博美 タシロ ヒロミ	3	青 45	23位

## 西郷村立川谷小学校(福島)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
新井 真優 アライ マユ	6	赤 30	105
秋山 陽方衛 アキヤマ ヒカリ	6	赤 37	
新井 俐奈 アライ リナ	2	青 38	
有賀 詩 アライ ユウタ	5	青 40	
石井 武丸 イシイ タケマル	2	赤 47	
荒谷 信寿 アラヤ ノブヒサ	6	青 51	24位

## 西郷村立小田倉小学校(福島)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
関根 大地 セキネ ダイチ	6	赤 31	108
中田 翔太 ナカタ ショウタ	6	赤 36	
小田 祐芽 オヤマダ ユウゴ	6	青 41	
小山田 祐太 オヤマダ ユウタイ	3	赤 47	
高木 しほ タカギ シホ	2	青 55	
			25位

## 西郷村立米小中学校(福島)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
菊池 隼 キクチ ハヤト	4	赤 31	111
高橋 穂穂 タカハシ カズホ	4	青 38	
相山 蓮音 ソウヤマ ハイネ	4	青 42	
北上 駿介 キタガミ シュンスケ	4	赤 42	
林 真珠 ハヤシ シズク	4	赤 43	
大高 優維 オオタカ ユイ	4	青 50	26位

## 西郷村立熊倉小学校(福島)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
人見 咲希 ヒトミ サキ	6	青 34	112
高橋 慧太 タカハシ ケイタ	6	赤 36	
添田 煌太 ソエダ キララ	3	青 42	
和知 汐夏 ワチ ユウカ	2	赤 45	
高橋 快翔 タカハシ カイト	4	青 46	
			27位

## 岡山大学教育学部附属小学校(岡山)

氏名・フリガナ・学年	コース	スコア	合計
福嶋 夏基 フクシマ ナツキ	3	青 36	131
納所 岳志 ノウジョ タケシ	3	赤 45	
橋本 恵典 ハシモト ケイスケ	3	青 50	
			順位
			28位

1チーム6人以下3人以上が9ホールをプレーし、上位3名の合計ストロークで順位を決定。  
チームが同スコアの場合に、最もスコアの少ない選手の学校が上位となる。  
更に同じスコアの場合には、次にスコアの少ない選手の学校が上位となる。  
尚、全選手のスコアが同じ場合、最もスコアの少ない選手のスコアを9番ホールからカウントバックして決定します。

## JGTOドリームチーム

氏名・フリガナ	コース	スコア	合計
藺田 峻輔 ソノダ シュンスケ	赤	21	67
永野 竜太郎 ナガノ リュウタロウ	赤	22	
片岡 大育 カタオカ ダイスケ	青	24	
浅地 洋佑 アサジ ヨウスケ	青	24	
秋吉 翔太 アキヨシ ショウタ	赤	26	
小田 翔明 オダ コウメイ	青	26	

- <ベストスコア賞> ●青コース 高橋 芽依(大崎市立鬼首小学校6年生)22ストローク(-14) ●赤コース 福永 未来(大田区立池雪小学校5年生)22ストローク(-14)  
<アルパトロス> ●青コース 6番ホール79ヤード 福永 未来(大田区立池雪小学校5年生)、加藤 智也(東広島市立三ツ城小学校6年生)  
●赤コース 3番ホール81ヤード 塚本 瑞起(桑名市立藤が丘小学校5年生)、佐久間 貴大(常陸大宮市立大宮小学校3年生)、高橋 芽依(大崎市立鬼首小学校6年生)  
<ホールインワン> ●青コース 2番ホール20ヤード 横田 遥希(播磨町立播磨南小学校4年生)、5番ホール23ヤード 出口 千加志(笠間市立友部小学校4年生)、8番ホール17ヤード 塩橋 柚巴(福山市立伊勢丘小学校4年生)  
●赤コース 2番ホール20ヤード 野原 湊(福山市立伊勢丘小学校6年生)、小川 周大(多古町立久賀小学校4年生) 5番ホール23ヤード 柴沼 里桜(笠間市立岩間第二小学校6年生) 8番ホール17ヤード 廣田 吉輝(神戸市立塩屋北小学校4年生)、見代 美咲(常陸大宮市立大宮小学校5年生)、山本 翔吾(東広島市立東西条小学校6年生)

優勝は茨城県友部小学校

子ども向けに開発されたスナッグゴルフの全国大会「第14回JGTOカップ」が7月16日、福島県西郷村のグランディ那須白河ゴルフクラブで開催されました。日本ゴルフツアー機構（JGTO）、日本高等学校ゴルフ連盟が主催し、岩手・宮城・福島3県は招待、他は予選を勝ち抜いた、北海道から沖縄まで16都道県28小学校164選手が出場しました。6人のプロが特別参加し、初夏のグリーン上で青、黄、紫、緑とカラフルなボールでストロークを競い、交流を深めました。東日本大震災からの復興支援のため、昨年までの3年は宮城県、今年から3年は会場を福島県に移します。



ロングホールで力強いスイングを見せる小学生選手

スナッグとは「Starting New At Golf（ゴルフを始めるために）」の頭文字と、「くつつく」という意味があるそうです。テニスボールより一回り小さなボールを、2種類のクラブを使い分けて、マジックテープで覆われた円筒形のスナッグフラッグにくっつけるまでの打数（ストローク）を競います。楽しみながらゴルフの基本、マナーと「協力、誠実、我慢、思いやり、礼儀」を学べるように考案され、多くの有名プロが支援しています。全国650以上の小学校が導入し、JGTOがその半数近くに用具を寄贈しています。被災地支援にも力を入れており、用具を寄贈しているのは、東北3県61校、熊本県9校に上ります。用具はベルマークでも買うことができます。スナッグゴルフで基礎を鍛え、プロや世界ジュニアで活躍する選手が登場しており、ますますの普及が期待されています。

開会式で、前年度優勝チームの東広島市立三ツ城小学校の内藤遼太郎（6年）が選手宣誓し、競技に入りました。507ヤード（17～83ヤード）、パー36（3～5）のコースで、1チーム6人が9ホールをプレーして、上位3人のストローク数合計で競います。

2014年の賞金王、小田孔明プロら6人のプロによる「ドリームチーム」も「やるからには勝負！」と、気合十分で臨みました。小田プロたちはプレーの合間には「あの子なんか、とてもうまい。マナーもいい。小学生（のレベル）じゃない」としきりに感心していました。

時折、霧雨のような小雨が降る中、ホールインワンが9人、アルバトロスが7人も出るハイレベルな大会を制したのは、スコア73の茨城県笠間市立友部小学校でした。キャプテンの羽沢和磨君（5年）は「監督、コーチ、保護者の皆さんのお陰です。去年は補欠で悲しい思いもしましたが、優勝できてうれしい」と喜びを語りました。藤家幸司監督は「4、5年生中心なので正直、厳しいと思っていましたが、子どもたちが一生懸命頑張ってくれました」と選手をたたえました。2位は東京都大田区立池雪小（スコア74）、3位は宮城県大崎市立鬼首小（同75）でした。ドリームチームはスコア67と、賞状を見せつけました。



クラブを合わせて、「勝ちに行くぞ！」と気合を入れるドリームチームのプロ選手たち



選手(43)＝福島市＝は準決「カイパークを拠点に戦う室」受賞している。

# 小田プロ、児童とプレー

## スナックゴルフ 西郷で全国大会

小学生が簡易版ゴルフ「スナックゴルフ」で競う第14回スナックゴルフ対抗戦JGT Oカップ全国大会は17日、西郷村のグランディ那須白河ゴルフクラブで開かれ、小学生ゴルファーたちが熱戦を繰り広げた。日本ゴルフツアー機構(JGTO)、日本高校ゴルフ連盟の主催。

## 福島オープンに合わせ

21日に同ゴルフクラブで開幕する男子ツアートーナメント「ダンロップ・スリメン」に合郷(西クソン福島オープン)に合郷)の6校が出場した。競技は9ホールプレーから沖縄までの28校から15し、各校上位3人の合計ス



コアを競う団体戦で行われた。福島オープンを控える小田孔明選手、蘭田峻輔選手ら男子プロ6人も「ドリムチーム」を結成して参加。児童と共にコースを回り、ゴルファーの卵たちを激励した。友部(茨城)が優勝を飾り、県勢は新地の17位が最高だった。

小田選手(左)と一緒にコースに挑む子どもたち

## 脳死者

世界で?

岡山大病院は17日、難病を抱える60代から左右の肺の損傷「ハイブリッド」を実施し、成功した。昨年4月、院が世界で初めてを実施。病院にとり、回が世界で2例目。移植手術は17日35分ごろ始まり、5時45分ごろ終了。性は約3カ月後に見通し。男性は2017年肺胞の壁が炎症を硬くなり、呼吸を素と二酸化炭素の交換がしにくく

ANA Jack Bunny!!

### 第14回 スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会

地区	代表選手	スコア
北海道	山本 大志	102
東北	佐藤 大志	105
関東	鈴木 大志	108
中部	田中 大志	110
関西	高橋 大志	112
中国	中村 大志	115
四国	山口 大志	118
九州	佐々木 大志	120

ANA 公益財団法人ジュニアゴルファー育成財団

ANA Jack Bunny!!

### 第14回 スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会

地区	代表選手	スコア
北海道	山本 大志	102
東北	佐藤 大志	105
関東	鈴木 大志	108
中部	田中 大志	110
関西	高橋 大志	112
中国	中村 大志	115
四国	山口 大志	118
九州	佐々木 大志	120

ANA 公益財団法人ジュニアゴルファー育成財団



## 協賛社(者)一覧

### 特別協賛

 全日本空輸株式会社

 株式会社TSIグローヴアンドスポーツ

 栄和リサイクル・スナッグゴルフ支援  
プロアマチャリティコンペ

### 助成



公益財団法人ジュニアgolfer育成財団

### 協賛

テリー・アントン／株式会社インプレッション／栄和リサイクル株式会社／株式会社エコワス

株式会社キヌガワプランニングオフィス／ゴルフタウンしらかわ推進協議会

秀明印刷株式会社／スナッグゴルフジャパン／セーレン株式会社

成友興業株式会社／特定非営利法人世界ジュニアゴルフ推進会

総合リゾートライフ株式会社／二番町法律事務所 弁護士 中野辰久(東京弁護士会)

日本ユニシス株式会社／株式会社ニックジャパン／ノヴィル株式会社

ハウス食品株式会社／ハウスウェルネスフーズ株式会社／医療法人ひまわりこどもクリニック

FCT福島中央テレビ／株式会社プラグインプロダクツ／株式会社フレンド企画／株式会社プレジャー

### 支援プロゴルファー

中嶋 常幸	金 亨成	浅地 洋佑	W・J・リー
谷口 徹	J・B・パク	重永 亜斗夢	文 景俊
藤田 寛之	池田 勇太	宋 永漢	横田 真一
倉本 昌弘	蘭田 峻輔	K・T・ゴン	A・ブランド
宮本 勝昌	石川 遼	片岡 大育	S・ハン
谷原 秀人	D・オー	小平 智	朴 相賢
武藤 俊憲	黄 重坤	岩田 寛	朴 一丸
I・J・ジャン	上井 邦浩	塚田 陽亮	趙 炳旻
S・K・ホ	B・ジョーンズ	永野 竜太郎	周 興喆
小田 孔明	宮里 優作	星野 英正	小林 伸太郎
H・リー	H・W・リユー	Y・ナン	秋吉 翔太